

# LNG火力発電所予定地を視察、市民団体と懇談

日本共産党国会議員団  
東海ブロックニュース

2017年  
8月1日  
第21号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所  
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号  
電話 〇五二(二六四)〇八三三  
FAX 〇五二(二六四)〇八五〇  
Eメール tokai1@caybb.ne.jp

## 火力発電所建設予定地を視察

島津幸広衆議院議員と武田良介参議院議員は、7月26日、静岡市清水区のJX清水駅前建設計画があるLNG（液化天然ガス）火力発電所（建設主体はJXTGエネルギー株式会社）を視察しました。また、同火力発電所建設に反対している関係団体と懇談しました。望月賢一郎静岡市議らが同行しました。



JXTG 社内で説明を受ける望月氏、島津氏、武田氏（左から）



建設予定地を視察する武田氏

同計画は、現在、環境影響評価手続きの「準備書」作成段階にあります。早ければ来年度中にも着工される予定で、JXTGエネルギー（株）は、2022年度にも運転開始をめざしています。

発電所（2基、最大出力110万キロワット）は、人口密集地のJR清水駅からわずか400メートルしか離れていない。え、石油コンビナート施設の真ん中に建設される計画となっています。市民からは、複合災害、環境問題などを懸念して反対の声があがってきましたが、それを無視して計画が進められています。

JXTG清水工場の視察で

は、尾崎雅規清水天然ガス発電合同会社社長（JXTGエネルギー社員）らに対応。敷地内の建設予定地で「駅からはかなり離れています」と説明しましたが、駅前にあるマンションはすぐ近くに見える状況でした。

住民からの懸念について、尾崎氏は、市や国の審査を受けていく経過で住民に説明していくと、これまで通りの回答をくりかえしました。

島津、武田両議員らは、川勝平太知事が7月20日の県議会で、環境への影響などの観点から、建設に反対姿勢を示していると指摘。尾崎氏は「環境影響評価は、静岡市がおこなうので、市の判断を受けたい」と答えました。

## 火力発電所建設反対の声次々



「清水火力発電所から子どもを守る mama の会」と懇談する武田氏（清水区「わらべや」にて）

島津、武田の両氏は建設中止を求めて運動している「LNG火力発電問題連絡会」と懇談。環境アセスメント（環境影響評価）「準備書」の静岡市への提出が9〜10月頃の見通しとなっているため、その前に国に建設中止を訴える場を設けてほしいと要請がありました。

両氏は、「環境アセスメント法は、住民合意が得られないものを無理にすすめるための手続きではない」と述べ、政府交渉の機会を設けたいとこたえました。

武田氏は、清水火力発電所から子どもを守るママの会とも懇談。会員から「将来も子どもたちが清水に安心して住み続けられるようにしたい」と、切実な願いが次々と寄せられました。

武田氏は、「しっかり調査して、みなさんの声を国会に届けていきたい」と語りました。